

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	兵庫県・加西市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	加西市文化遺産を活用した地域活性化事業		【計画の改善時期】 平成 30 年度
4 実施計画期間	平成 25 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
加西市では、加西市文化財審議委員会からの提言「文化財の保存と活用の新たな方向性の提言」（平成22年2月22日）を踏まえ、市内各地に存在する歴史文化遺産を活用し、観光振興や地域活性化を推進するため、また、次世代に歴史文化遺産を継承、発展させるまちづくり、ひとづくりを推進するため、さらに、新たな歴史文化遺産の掘り起しを推進するために、以下の取組を実施する。 併せて、平成29年度に策定した「加西市歴史文化基本構想」を基に、より充実した文化遺産の保存と活用を図る。 （１）情報発信事業：地域の歴史遺産の魅力発信 【歴史文化遺産に関する情報発信事業】《平成26年度補助事業終了》地域の歴史部文化遺産の開度ブックを作成・配布する。 （２）人材育成：「加西人」の育成 【歴史街道ボランティアガイド養成事業】《平成28年度事業終了》ボランティアガイド養成研修講座の開催 カラーパンフレット・講座DVDの作成 【歴史遺産語り部養成講座の開催】《新：地域活動団体からの申し出により新規追加》「加西市歴史文化基本構想」で取り上げた地域（概ね小学校区）の文化遺産のうち、観光資源化を進める地区や対象歴史遺産群についてボランティアガイドを養成し、来訪者の受け入れ態勢の整備を促進する。（補助事業期間：平成30年度～33年度） （３）普及啓発事業：歴史文化遺産展示会・ワークショップ・見学会事業 【展示会「鵜野飛行場展」事業】《平成28年度補助事業終了》鵜野飛行場に関する展示会、講演会の開催 【石仏ワークショップ事業】《平成29年度補助事業終了》加西の特徴である石の文化の周知・継承を行うため、石仏体験等を実施する。大人向けの石仏彫りワークショップは本年度4年目を迎え、5年目となる29年度を最終年度とする。（補助事業期間：平成25年度～29年度） 【地域の文化遺産の紹介展示および見学会の開催】《新：地域活動団体からの申し出により新規追加》「加西市歴史文化基本構想」で取り上げた地域（概ね小学校区）の文化遺産および関連史を紹介する地域展を開催するとともに、当該文化遺産の見学ガイドツアーを開催する。（補助事業期間：平成30年度～33年度） （４）継承事業 【伝統行事後継者養成事業】《平成27年度補助事業終了》 子供太鼓等の後継者養成事業 【屋台修理】市内の祭屋台を、1基につき（自主事業も含め）10ヶ年計画で部分修理を実施する。各年度5団体前後の修理事業を実施する。33年度以降も継続的に修理を行う。（補助事業期間：平成25年度～33年度） 【北条節句祭り衣裝修繕】節句祭りに使用する龍王の装束、神役の装束等の修理を順次実施し、10ヶ年計画で完了させる。本年は第5年次にあたる。 （補助事業期間：平成26年度～33年度） 【その他祭具修理】市内の祭礼・民俗芸能に使用する用具修理を年1～2件程度実施する。 （補助事業期間：平成27年～33年度） （５）地域の文化遺産記録作成、調査研究事業 【加西市石仏調査研究事業】《平成27年度補助事業終了》 市内キリシタン関連遺物の調査 解説会の開催 【小谷区の文化遺産記録作成】《平成29年補助事業終了》調査研究事業 冊子作成			
6 実施体制			
本事業については、加西市教育委員会が全体計画の調整を行う。 実行委員会事務局を加西市教育委員会生涯学習課内に置く。 事業の実施については、次の団体が実施。 加西市文化遺産活用実行委員会 構成団体（加西市教育委員会、NPO法人まちづくり北条、鵜野平和祈念の碑苑保存会、ももこの11（富合地区ふるさと創造会議）、黒駒区屋台保存実行委員会、東高室地区節句祭り運営委員会、笠屋区節句祭り運営委員会、北条節句祭り保存会、加西市窪田町自治会、常吉町自治会）			

7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 63, 990 千円	平成30年度申請額： 9, 332 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
進学・遠方就職などによる離郷する青年層の郷里への帰属意識を高め、一時帰郷及び再定住を促し、人口増・地域の活性化をすすめ、加西市が掲げる5万人都市の再生へ繋げる。 現在、加西市では小学校区ごとにふるさと創造会議が設立され、住民主体の地域おこしが進められている。かつての祭礼行事は、神仏を祀るものであると同時に、村や惣住人の団結の強化と帰属集団の再認識を行う場として用いられた。地域に根付く文化遺産を活用することで、地域の魅力を再発見し地域おこしの一翼を担うとともに、かつての祭礼行事と同様に、実施と参加により地縁の強化を図ることが期待される。 地域の特色を打ち出す事業や修理事業により美しく蘇った祭礼具は、SNS等による格好の個人配信素材となりうるものであり、地域が注目される起爆剤となる可能性を秘めている。			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
平成29年度：「加西市歴史文化基本構想」策定			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	加西市教育委員会 生涯学習課 （市史文化財係）		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	加西市観光入込数			関連事業:	事業①②③	
目標値 1 :	【現状値】 平成 23 年度 840,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 924,000 人					
設定根拠 1 :	事業開始の平成23年度の加西市の観光客入込数840,000人を基礎値とし、他の市事業・イベントとの兼ね合いもあるが、毎年1%の増を目指す。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
836,767 人	人	人	人	人	人	
-4%						
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	北条節句祭りへの見学者を含めた参加者数			関連事業:	③	
目標値 2 :	【現状値】 平成 25 年度 30,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 30,000 人					
設定根拠 2 :	用具の修理を行うことで、一時帰郷を促すなど担い手減少に歯止めをかけ、毎年30,000人規模の参加者の維持を目指す。祭礼規模が維持されることで担い手のモチベーション増につながる。 ※目標値を全体事業計画完了後の34年度とするのは、平成33年度事業成果が翌年度4月第1週の節句祭りの参加者数となるため。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
30,000 人	人	人	人	人	人	
100%						
目標区分 3 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 3 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	五百羅漢保存委員会の会員数			関連事業:	④	
目標値 3 :	【現状値】 平成 25 年度 18 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 30 人					
設定根拠 3 :	ワークショップの修了者を五百羅漢保存委員会への入会を促し、市内石造物の保存と魅力発信の一翼を担わせる。					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
20 人	人	人	人	人	人	
17%						

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	加西人の育成	実施団体：	ももこの11（富合地区ふるさと創造会議）			
事業区分：	人材育成	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	青野原収容所遺産の語り部養成講座の開催 青野原俘虜収容所ボランティアガイドの育成					
評価指標区分：	・ボランティアガイド育成講座修了者の後年度活動者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	語り部登録者数（現状では観光整備と派遣制度が確立していないため、不時来訪者に向けたガイドを地域住人が行えるよう、ひとまず在地の待機ガイドとして養成する）					
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 1 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 10 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
1 人	人	人	人	人	人	
0%						
事業②：	青野原俘虜収容所ルネサンス事業	実施団体：	ももこの11（富合地区ふるさと創造会議）			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	青野原俘虜収容所写真展および大津留厚氏による講演会の開催 青野原俘虜収容所保存会会員数増を促す					
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	青野原俘虜収容所保存会会員数					
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 5 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 25 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
5 人	人	人	人	人	人	
0%						
事業③：	継承のために用いる道具の修理事業	実施団体：	市内の各保存会・自治会等			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 25 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	市内の祭屋台を、1基につき10ヶ年計画で部分修理を実施する。各年度5団体前後の修理事業を実施する。34年度以降も継続的に修理を行う。併行して老朽化した祭礼具の新調を行う。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	担い手不足に歯止めをかけ、各団体の現行人員数を維持し、祭礼規模・形態の維持を担保する。目標値は北条節句祭り祭礼参加団体数の維持率。					
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 100 % ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 100 %					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
100 %	%	%	%	%	%	
100%						

事業④：	北条石仏「五百羅漢」魅力発信事業					実施団体：	五百羅漢保存委員会				
事業区分：		普及啓発				事業期間：	平成 25 年度 ～ 平成 29 年度				
事業概要：		加西の特徴である石の文化の周知・継承を行うため、石仏体験等を実施する。大人向けの石仏彫りワークショップの開催《29年度補助事業終了》									
評価指標区分：		・フェスティバル出演団体の保存会会員数					(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標：		五百羅漢保存委員会への新規会員数									
目標値：		【現状値】 平成 25 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 12 人									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
2 人	人	人	人	人	人						
17%											
事業⑤：	小谷区の文化遺産記録作成、調査研究事業					実施団体：	小谷区文化財保存会				
事業区分：		調査研究				事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 29 年度				
事業概要：		小谷地区の中世史料調査を3ヶ年計画で実施し、28年度に史料調査を実施し、29年度に成果物を作成し補助事業を完了する。30年度からは、成果物を活用した自主事業を実施する。《29年度補助事業終了》									
評価指標区分：		・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）					(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標：		成果物を活かした自主事業の件数									
目標値：		【現状値】 平成 29 年度 0 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 3 (単位)									
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
1 (単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)						
33%											